

【プログラム16：知ってる？子どもの発達の段階】

☆ねらい：年齢に応じた子どもの成長・発達を知ることを通して、育ちの見通しを持ち、子育てに対しての前向きな気持ちや意欲を高める。

《プログラムの概要》

キーワードの例	子どもの成長・発達
時 間	30分
人 数	何人でもできる。
活動形態	グループから個人（1グループの人数は3～4人）
準備物	ワークシート
主な活動	<p>①ワークシートを通して発達段階を考える。（別紙参照）</p> <p>②子どもの発達のこと、子育てで気になっていること等を出し合う。</p> <p>③話題になったことを全体に紹介する。</p>
気を付けること	<p>○発達には個人差があり、ワークシートの例は一般的な傾向であることを知らせ、不安等を与えないように配慮する。</p> <p>○子どもの発育・発達のことによって心配なことや不安なことがある場合は、乳幼児健診の時に相談したり、保育所や幼稚園等の先生方に相談したりするように話す。</p>
まとめについて	<p>○展開例に示しているポイントは、本プログラムにおける例である。進行役が自身の体験や経験から感じていることを付け加えたり、例示してあるポイントから取捨選択したりして参加者に伝えるようにする。</p> <p>○例示のポイントを押し付けないように心がける。</p> <p>○参加者に分かりやすい言葉で伝えるように心がける。</p>
備 考	<p>○配付資料等で、市町村の相談窓口等を知らせてもよい。また、園の先生方、子育て支援センターの方等の身近な人に話すことも、不安を抱え込まない第一歩だということも知らせておくと、相談に対する負担感が軽減される。</p> <p>○「特性やこだわりを持っているので育てにくい子ども＝困った子ども」ではないということを、進行役がしっかり理解しておくことが必要である。具体的なことを聞かれ、回答に困る場合は、市町村の保健師や相談窓口等を紹介し、進行役の個人的な見解でこの場を治めないように留意する。</p>

【プログラム1.6：知ってる？子どもの発達の段階】

〔30分〕

時間	形態	講座の流れ
1分	全体	<p>1. ねらいを確認する。【1分】</p> <p>〔キーワード〕 ○子どもの成長・発達</p>
24分	個人 グループ 全体	<p>2. ワークシートを通して、子どもの発達段階を考える。【18分】</p> <p>(1) ワークシートで考える。〈6分〉</p> <p>※問題を考えることが大事で、正解・不正解だけに関心が向かないように気を付ける。</p> <p>※個人で考え、その後、進行役が回答を知らせるが、子どもの発達のこと で気になっている保護者もいらしゃるので、「自分の子どもは・・・」と考 えるより「一般的には・・・」という形で回答を進めた方がよい。</p> <p>(2) 子どもの発達のこと、子育てで気になっていること等を出し合う。 〈12分〉</p> <p>3. グループで話題になったことや感想等を他のグループにも紹介する。 【6分】</p>
5分	全体	<p>4. まとめを話す。【5分】</p> <p>〔ポイント〕</p> <p>・ 幼児期の子どもの成長・発達の段階を知ることは、子育てをしていく上で目安となる。それを知り、いろいろなことを経験させていくことが大事。</p> <p>・ 幼児期の子どもの成長・発達は個人差が大きく、生まれ月によってもその差があるので、あまりに心配しすぎると、保護者の心がきつくなることもある。心配なことがある時には、同じ子育て世代の仲間に聞いたり、園の先生方や保健師の方々に相談したりするとよい。</p> <p>※子育て川柳を紹介し、子育てに対する意欲を高める。 子育て川柳を紹介する時は、時間配分に気を付ける。</p>

〔 活 動 〕

〔 基本的な説明・問いかけ例 〕

〔 備 考 〕

1. ねらいの
確認

○今日は、「子どもの成長・発達」をキーワードに
講座を進めていきたいと思います。

・キーワードを
提示する。

2. 子どもの
発達段階
を考える

○今日は、まず、ワークシートを使って、子どもの
発達について考えてみたいと思います。

(ワークシートを配付)

○ワークシートに①～⑧まで幼児期の子どもの様子
が記されています。それぞれは、おおむね何歳頃
の子どもの特徴だと思うか、番号を書いてくださ
い。それぞれに2つずつ入ります。これらの特徴
は、一般的な特徴です。子どもの発育・発達には
個人差がありますので、全ての子どもさんがこの
とおりに当てはまるとは限りません。

・「おおむね○
歳頃」とは、
○歳の誕生日
の前後の期間
を含み、幅が
広いことを知
らせる。

○いかがでしたか。

ここからは、子どもの発達のことや子育てで気にな
っていること等を、グループで、自由に出し合
ってください。1つの話題について皆さんが話さ
れてもいいですし、それぞれが気になっているこ
とや知りたいこと等を話されてもよいでしょう。

・時間が限られ
ているので、
時間配分に気
を付け、全員
が1回は話せ
るように留意
する。

3. 感想等の紹介

○まだ話している途中だと思いますが、グループで出された意見や考えられたこと等を紹介してください。

(時間があればグループの意見を多く紹介する。)

○どうでしたか。いろいろな意見を聞いて参考になりましたか。

・悩みや不安等は、誰にでもあることを知らせ、安心感を持たせる。

4. まとめ

○幼児期の子どもの成長・発達の段階を知ることは、子育てをしていく上での目安となります。それを知るとともに、いろいろなことを経験させていくことが大切です。

○幼児期の子どもの成長・発達は個人差が大きく、生まれ月によってもその差はあるので、あまりに心配しすぎると、保護者の心がきつくなることがあります。心配なことがある時には、同じ子育て世代の仲間に聞いたり、園の先生や保健師の方々に相談したりするとよいと思います。

※子育て川柳を紹介し、子育てに対する意欲を高めることもできる。(子育て川柳を紹介する時は、時間配分に気を付ける。)

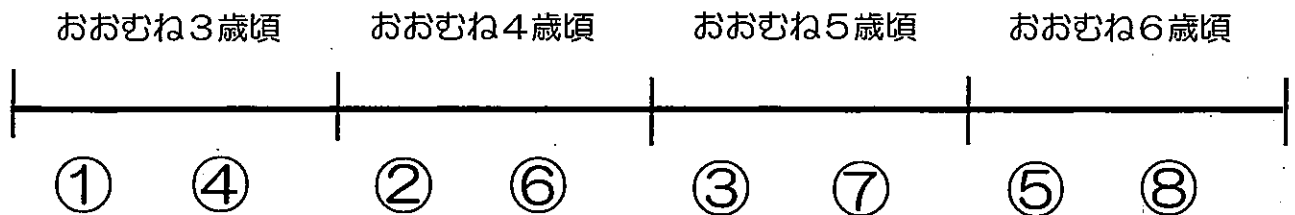
・悩みや不安等を抱く保護者が、専門機関等に相談しやす状況をにするために、市町村の相談窓口一覧等を、参加者全員に配付する等の工夫をするとよい。

【知ってる？子どもの発達段階】 ワークシート

回答

○子どもの一般的な発達段階について考えましょう。

下の①～⑧は、おおむね何歳頃の特徴でしょうか。考えを書いてみましょう。
それぞれに2つずつ入ります。



- ①話し言葉が増え、「おはよう」、「ありがとう」を使うようになる。
- ②自然環境に興味を持ち、砂山を作ったり泥だんご作りに夢中になったりする。
- ③一日の生活の流れが分かり、生活に必要な行動のほとんどを一人でできるようになる。
- ④友だちと同じ場所にいるのだが、それぞれが独立して遊ぶ（平行遊び）遊び方が特徴である。
- ⑤全身運動がなめらかになり、ボールをつきながら走ったり、跳び箱や竹馬に乗る等意欲的に挑戦したりしようとする。
- ⑥全身のバランスを取る能力が発達し、片足跳びやスキップ等ができるようになる。
- ⑦人の役に立つことを喜び、大人の手伝いや年下の子どものお世話をするようになる。
- ⑧自分から言葉を使い、文字を書いたり読んだりするようになる。



（出典：厚生労働省「保育所保育指針」より抜粋）

子育て川柳

○おままごと 我が家のひみつ 暴露され

○立って抱け 怒る小さな 司令塔

○いい加減 育児はそれが 良い加減

○可愛さに 成長止まれと 思う日々

○初めてが 君と一緒に 増えていく

○眠いなら 寝ればいいのに なぜぐずる

(出典：「和光堂」子育て川柳)

※子育て川柳は、出典を明らかにし、すでに作成されているものを紹介するとよい。

※講座のまとめに使うときは、中心活動を補うような川柳を紹介するとよい。